



令和元年5月

白岡市地域公共交通確保維持改善協議会

目 次

1 「のりあい交通」本格運行4年目の実績（概要）	1
(1) 利用登録者数	1
(2) 利用人数（延べ人数）	1
(3) 便（時間帯）別利用状況（延べ人数）	1
(4) 収支状況	2
2 登録者、利用者数の変化	3
(1) 利用登録者数	3
(2) 利用者数（実人数）	3
3 登録者、利用者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢構成	4
(3) 地区別登録・利用状況	5
4 曜日・運行便ごとの利用の特徴	6
(1) 曜日別利用者数	6
(2) 便別予約状況	8
5 乗降所別、目的地施設別利用状況	10
(1) 乗降場所別累積乗降回数（上位20か所）	10
(2) 利用されている乗降場所の分布	11

1 「のりあい交通」本格運行4年目の実績（概要）

本格運行4年目として、平成30年4月1日から平成31年3月31日までに合わせて291日間運行し、利用状況等の概要は次のとおりとなった。

なお、平成30年度からは昼休みとしていた時間帯（12:30～13:29）を5便として運行した。

また、インターネットによる予約も導入した。平成30年度の予約実績としては、577件だった。

(1) 利用登録者数

平成30年度では、532人が登録した。平成29年度までの登録者4,059人と合わせて、これまでに4,591人が登録している。 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
53	66	47	39	57	40	302	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間合計
29	42	34	32	54	39	230	532

(2) 利用人数（延べ人数）

平成30年度では、1日当たり38.1人が利用し、前年度の35.3人に対して2.8人増加した。 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
利用実績 (うち、ネット予約)	853 (5)	861 (21)	996 (24)	1,005 (31)	1,046 (31)	904 (35)	5,665 (147)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間合計
利用実績 (うち、ネット予約)	922 (30)	903 (61)	944 (98)	814 (111)	884 (58)	965 (72)	5,432 (430)	11,097 (577)

(3) 便（時間帯）別利用状況（延べ人数）

1便から3便が特に多く、午前中の利用が多い。午後は時間が進むにつれ利用者数が減少している。

また、4便から6便の時間帯が前年比で439人増加した。 (人)

	1便 8:30～	2便 9:30～	3便 10:30～	4便 11:30～	5便 12:30～	6便 13:30～	7便 14:30～	8便 15:30～	9便 16:30～	合計
上半期	801	925	851	667	451	587	503	428	452	5,665
下半期	790	905	797	575	420	548	531	435	431	5,432
年間計	1,591	1,830	1,648	1,242	871	1,135	1,034	863	883	11,097

(4) 収支状況

平成30年度の収支率は、17.8%となった。平成29年度の20.1%から2.3ポイントの減少となった。

(円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
運賃収入 (回数券売上を含む。)	324,600	318,300	354,300	387,700	405,300	345,100	2,135,300
委託費用	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	12,240,000
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計
運賃収入 (回数券売上を含む。)	357,800	295,600	352,100	289,900	324,900	321,800 (A)290,000	2,232,100
委託費用	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	12,240,000
							年間計
運賃収入 (回数券売上を含む。)							4,367,400
委託費用							24,480,000

(A)：自主返納者への補助金（毎年3月で清算）

※ 地域公共交通確保維持改善事業費補助金として、運行事業者である昭和タクシー有限会社に対して2,626,000円が交付された。運行契約において、同補助金の交付額を委託料から差し引くこととしていることから、当協議会に同額が送金されている。

[参考] 市実質負担額：17,486,600円

(運行費用24,480,000円 - 運賃収入4,367,400円 - 国庫補助金2,626,000円)

2 登録者、利用者数の変化

(1) 利用登録者数

平成30年度では、532人が利用登録し、平成29年度までの登録者4,059人と合わせて4,591人の登録者数となっている。

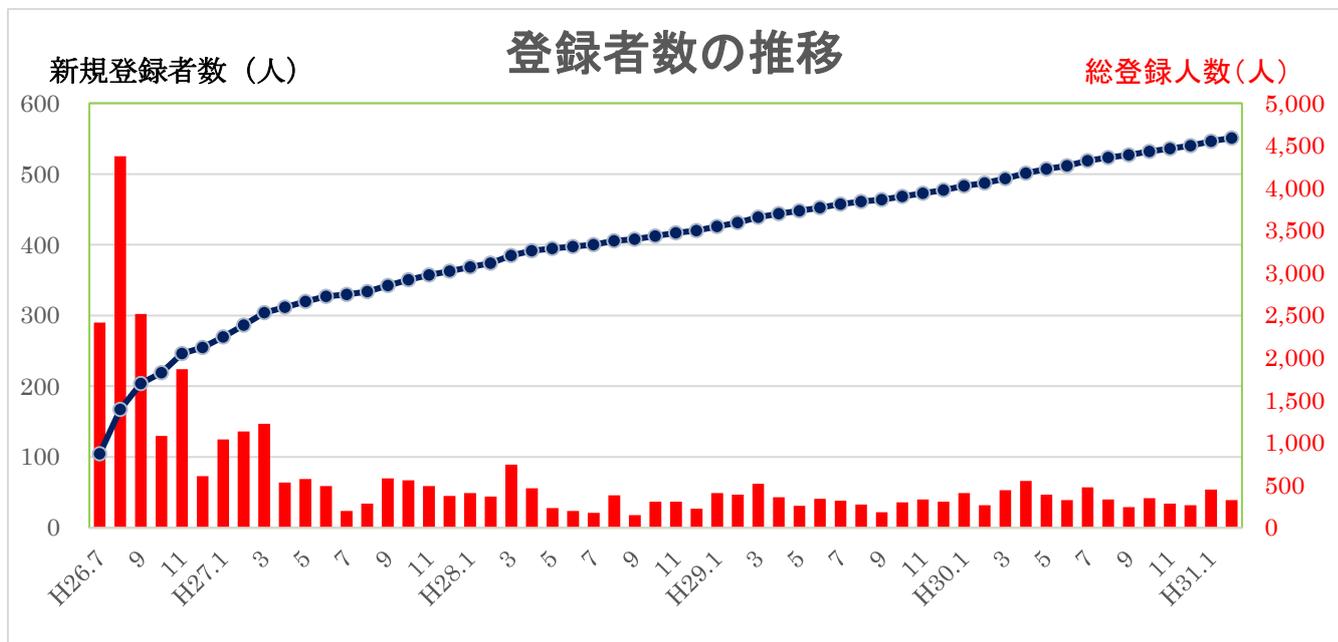


図 2-1 利用登録者数の変化

(2) 利用者数 (実人数)

登録者のうち「のりあい交通」を利用した人は、平成30年度末までに、1,682人となっている。

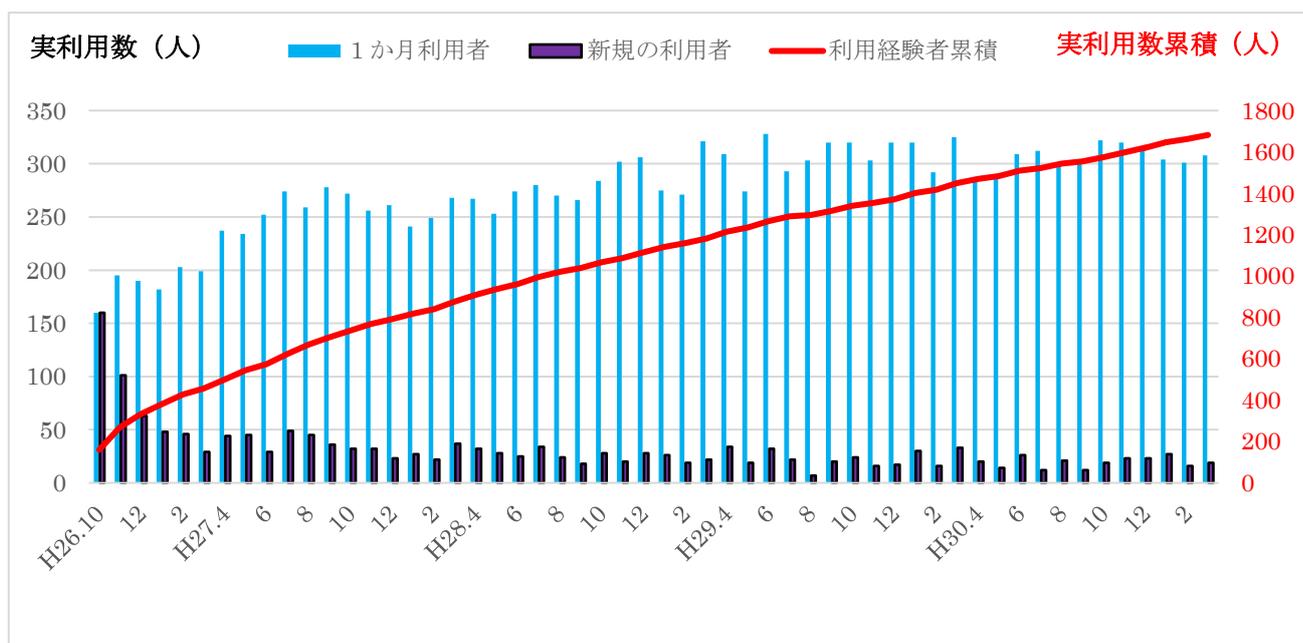


図 2-2 利用者数の変化

3 登録者、利用者の属性

(1) 性別

登録者の男女比は2:3だが、利用者では2:5となり、女性の利用が多く、傾向としては実証運行開始以降あまり変化がない。

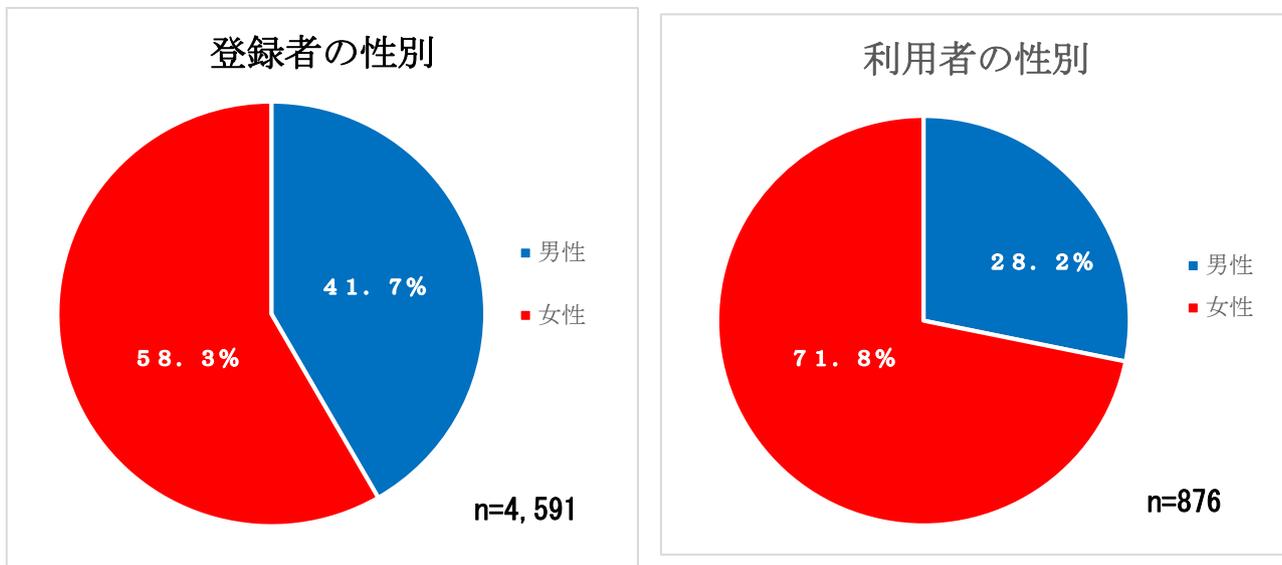


図 3-1 登録者、利用者の性別

(2) 年齢構成

登録者における70歳代以上の高齢者の割合は57.5%であるが、利用者では68.2%となり、高齢者の利用が非常に多くなっている。

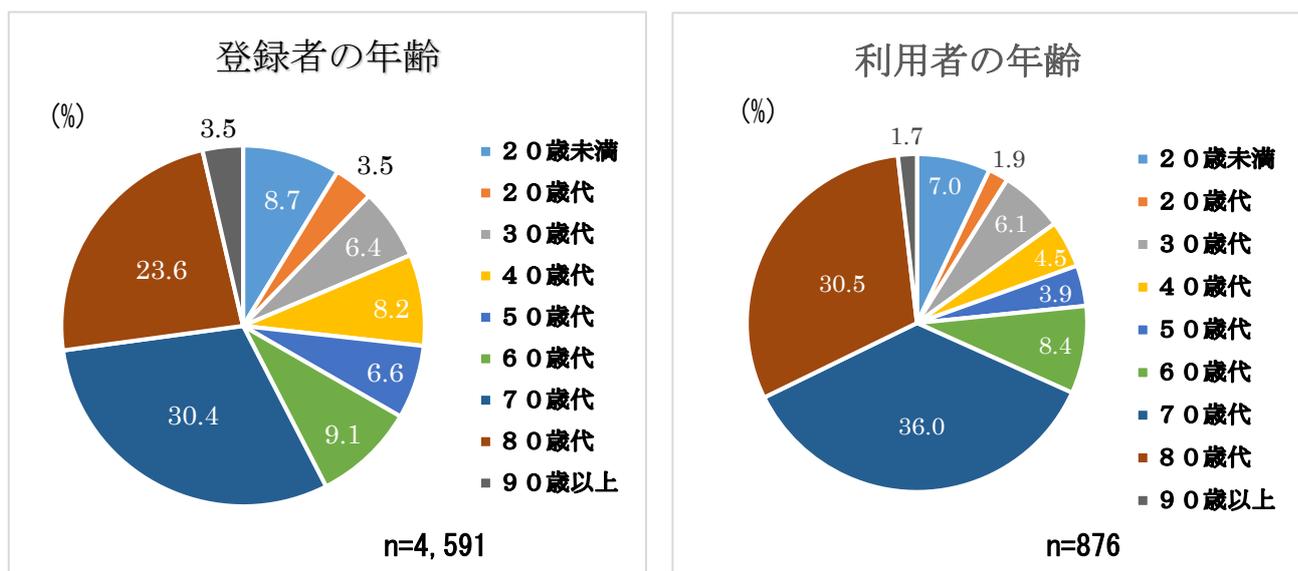


図 3-2 登録者、利用者の年齢構成

(3) 地区別登録・利用状況

登録者・利用者とも地区別の構成は人口比にほぼ対応しているが、市の東部の岡泉、上野田、下野田、太田新井、彦兵衛では、人口に対して登録者・利用者が多くなっている。

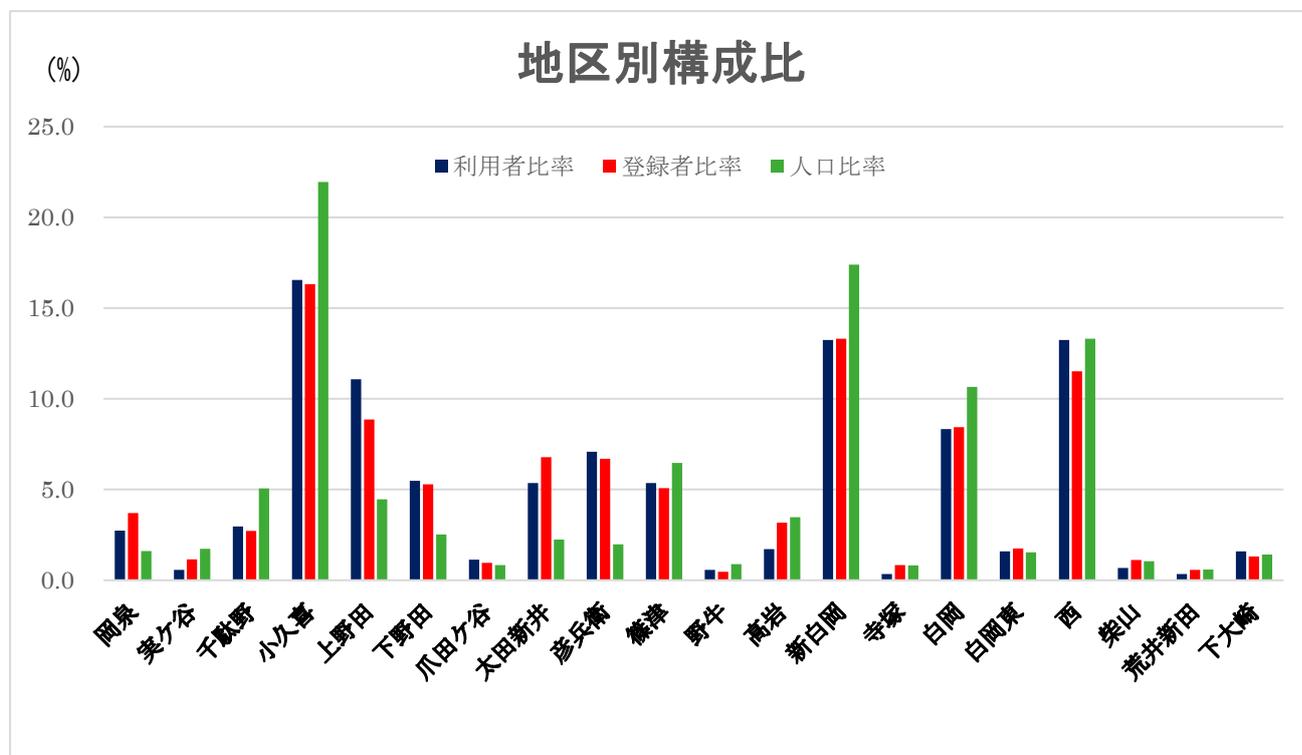


図 3-3 地区別の登録・利用状況

※ 人口比は、平成31年4月1日現在の人口を用いた。

4 曜日・運行便ごとの利用の特徴

(1) 曜日別利用者数

平成30年度では、水曜日と金曜日の利用が40人/日以上となった。また、他の曜日についても、全体的に利用者伸びている。

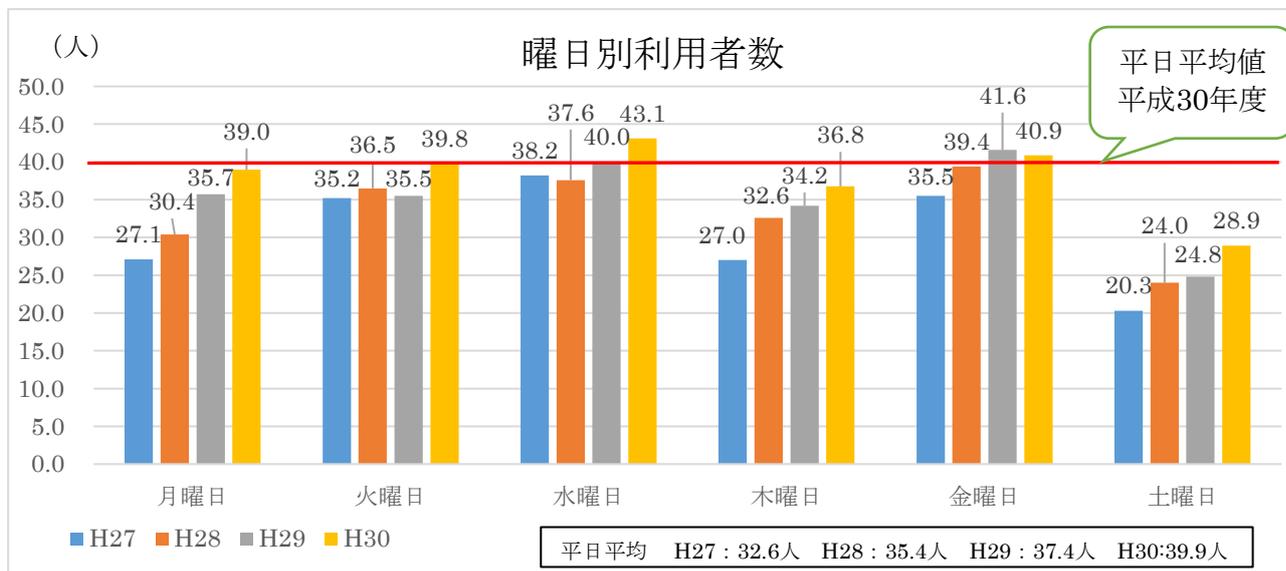


図 4-1 曜日別利用者数

曜日別の移動目的地をみると、平日では病院・医療機関への移動が3割以上となり多くなっている。病院・医療機関の休みが多い木曜日では、他の曜日と比べて交通施設への移動が多くなっている。

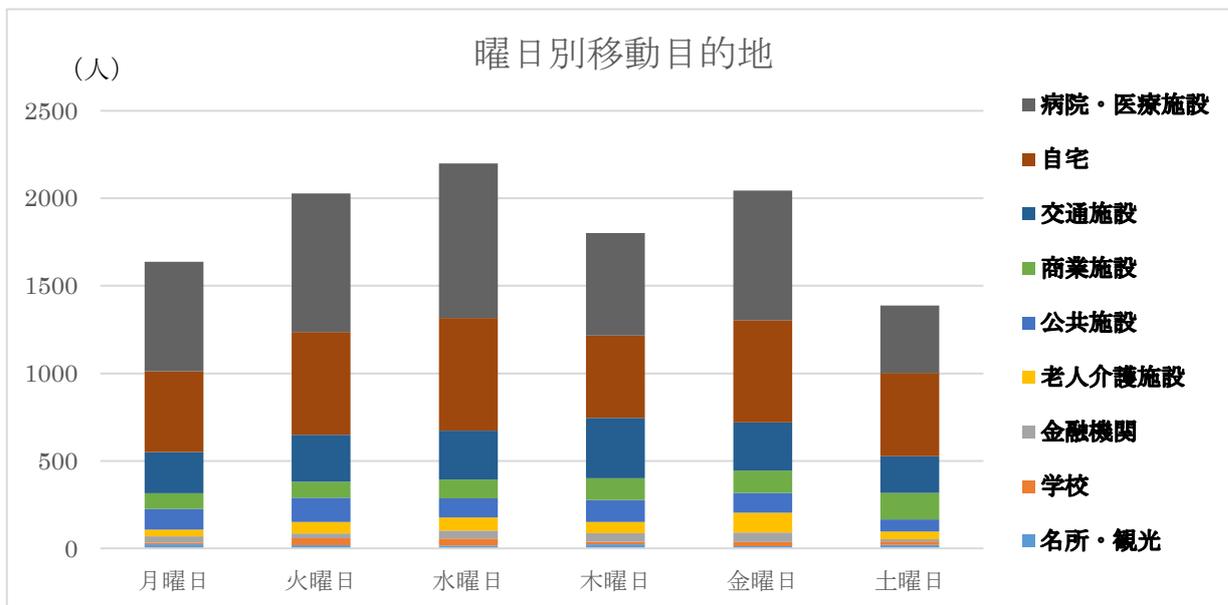


図 4-2 曜日別移動目的地

曜日別の予約状況を見ると、各曜日とも3割以上の人当日に予約して利用しており、前日を含めると各曜日4割以上となる。

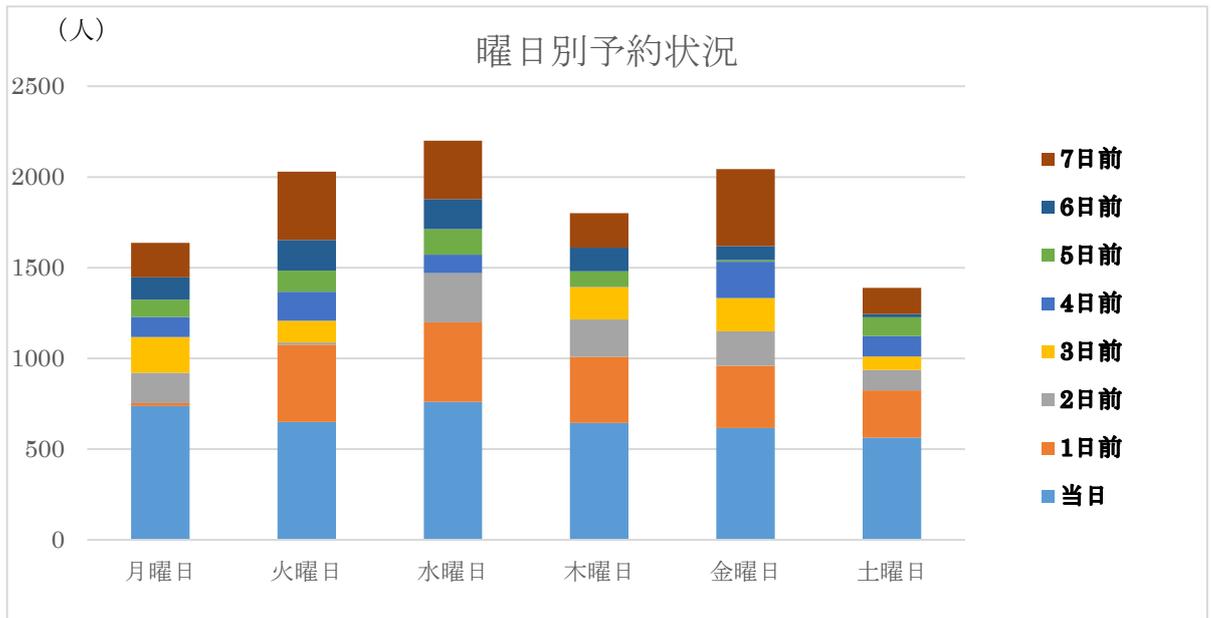


図 4-3 曜日別予約状況

(2) 便別予約状況

のりあい交通の運行時間は、8:30から1時間ごとに区切られており、各時間帯で2台の車両が運行している。(平成30年度から12:30分が追加され計9便の運行)

表 4-1 運行便

運行時刻	8:30～	9:30～	10:30～	11:30～	12:30～	13:30～	14:30～	15:30～	16:30～
便・台数	1便 2台	2便 2台	3便 2台	4便 2台	5便 2台	6便 2台	7便 2台	8便 2台	9便 2台

平成30年度における便別の利用数を見ると、1便の利用が前年度より伸びており、3便までの利用が多くなっている。

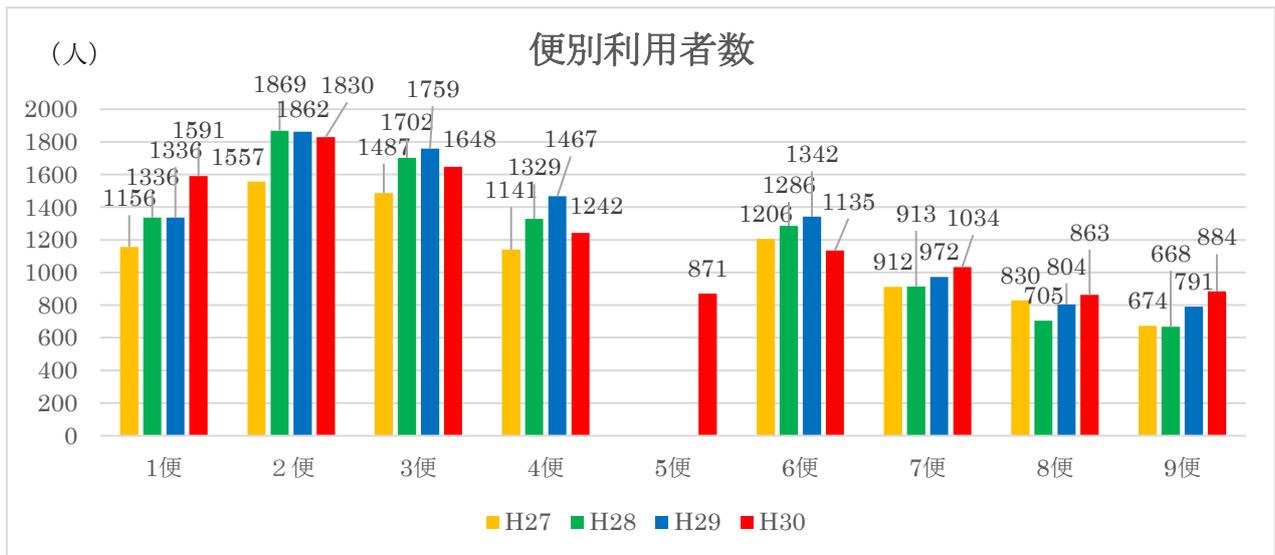


図 4-4 便別利用者数

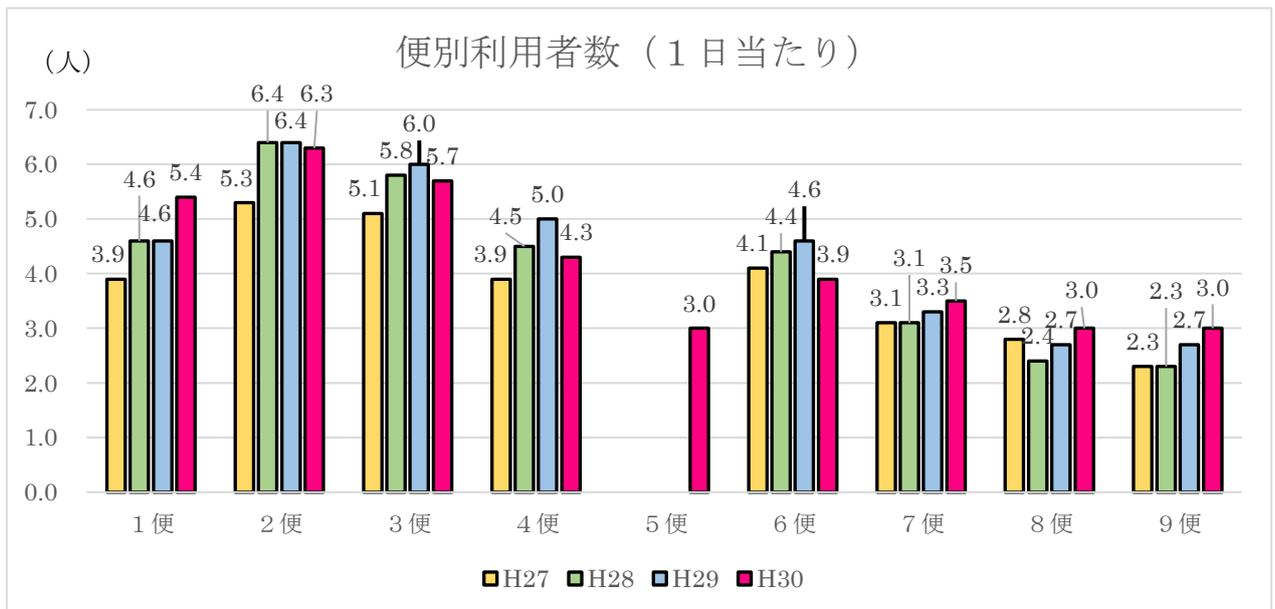


図 4-5 便別利用者数 (1日当たり)

平成30年度における便別の移動目的地をみると、1便から3便において病院・医療機関への移動が多く、4便から自宅に戻る帰宅の移動が多くなっている。

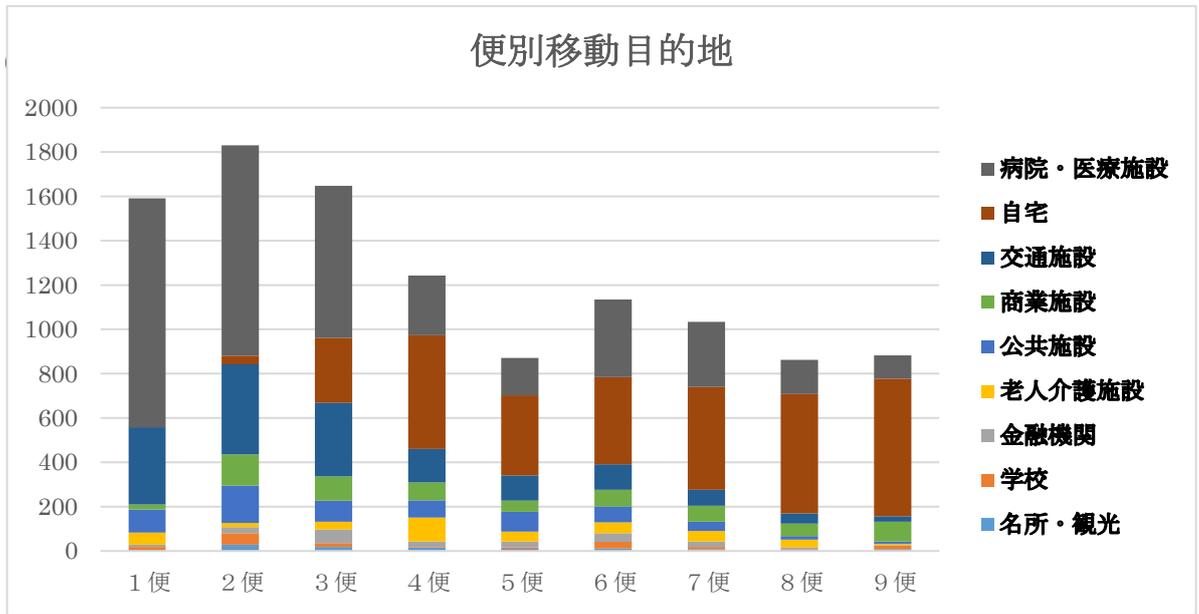


図 4-6 便別移動目的地

便別の予約状況を見ると、1便と2便において7日前の予約が多い。3便以降では、利用者の多くが当日に利用予約している。

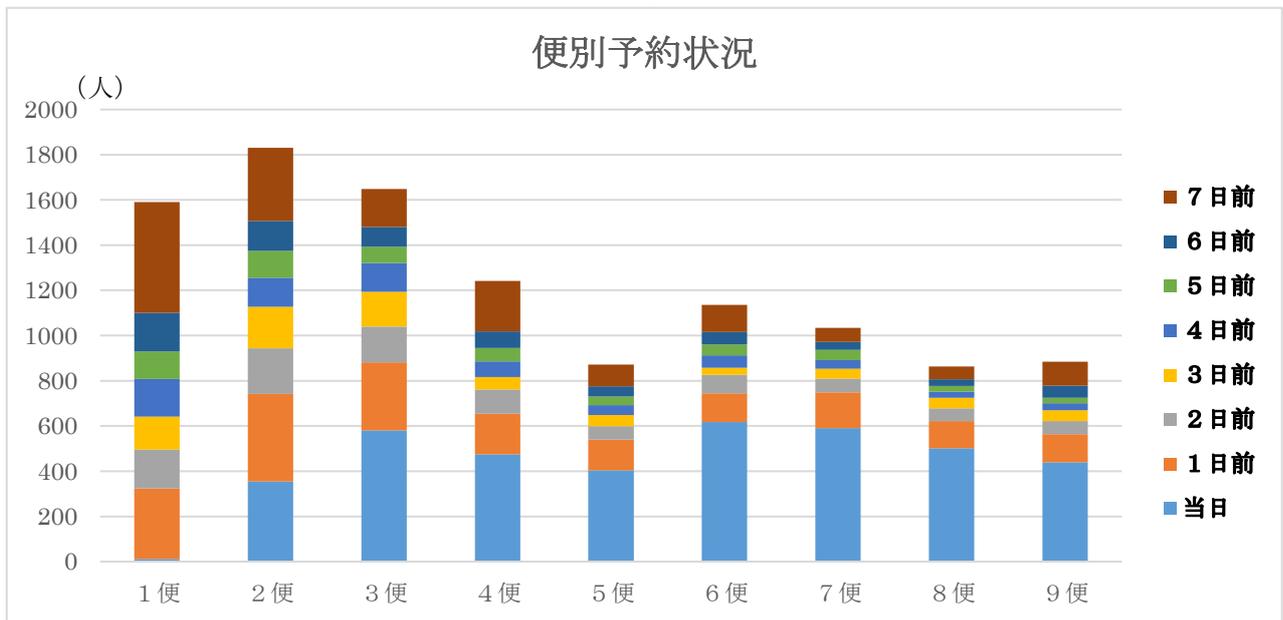


図 4-7 便別予約状況

5 乗降所別、目的地施設別利用状況

(1) 乗降場所別累積乗降回数（上位20か所）

目的地乗降場所（B）では、白岡中央総合病院、白岡駅東口ロータリー、パーク病院、白岡駅西口ロータリーで、600回以上の乗降が行われており、これらの施設がよく利用された。

白岡中央総合病院は276人、白岡駅東口ロータリーは204人、パーク病院は163人と実利用者が多い。

また、白岡駅西口ロータリー、白岡市役所でも、実利用者がそれぞれ130人と多く、これらの場所は広く市民に利用されていることが分かる。

一方、実利用者が少なくても利用回数が多くなった乗降場所もあり、リピーターが存在していることが分かる。

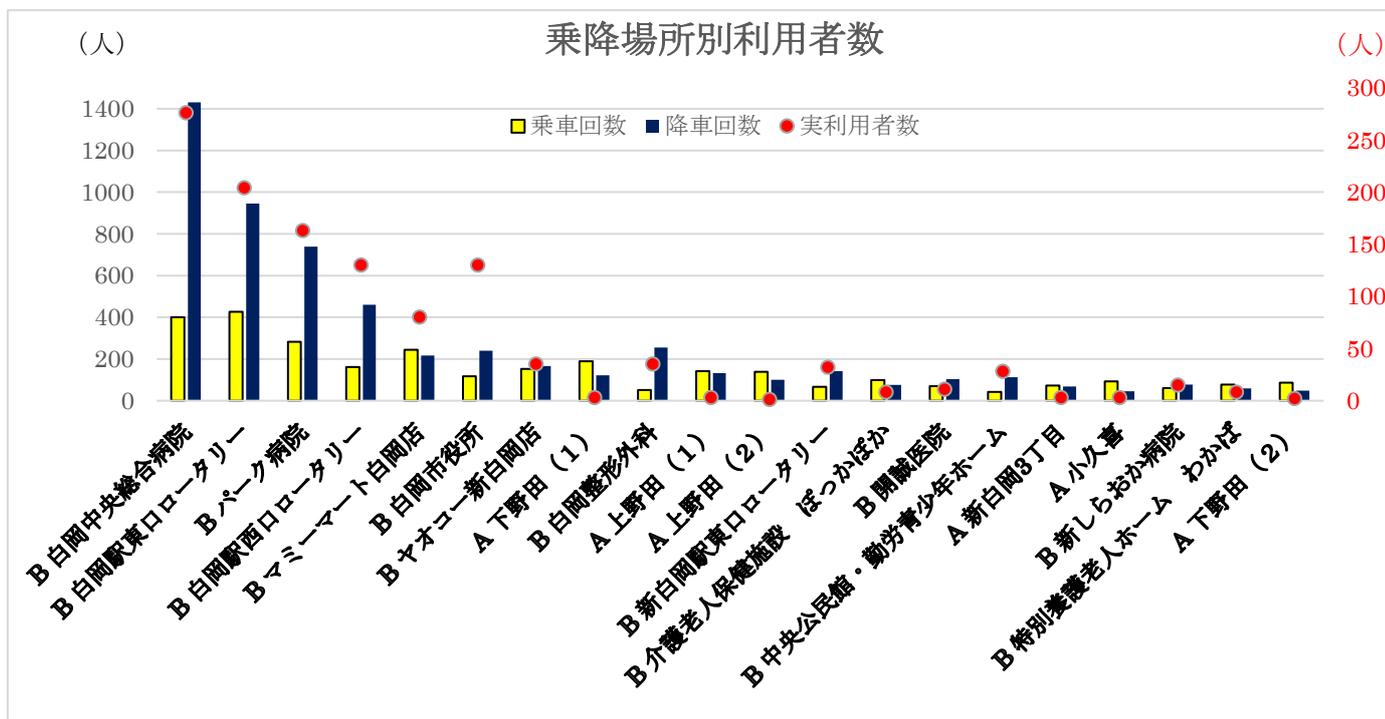


図 5-1 乗降場所別利用者数

(2) 利用されている乗降場所の分布

① 自宅用乗降場所(A)の乗車利用における利用人数

人口の多い小久喜、白岡、西、新白岡、バス路線のない市東部の高岩、上野田、下野田、太田新井、彦兵衛からの利用が多くなっている。これに対し、市西部の柴山、荒井新田、下大崎からの利用は少なくなっている。

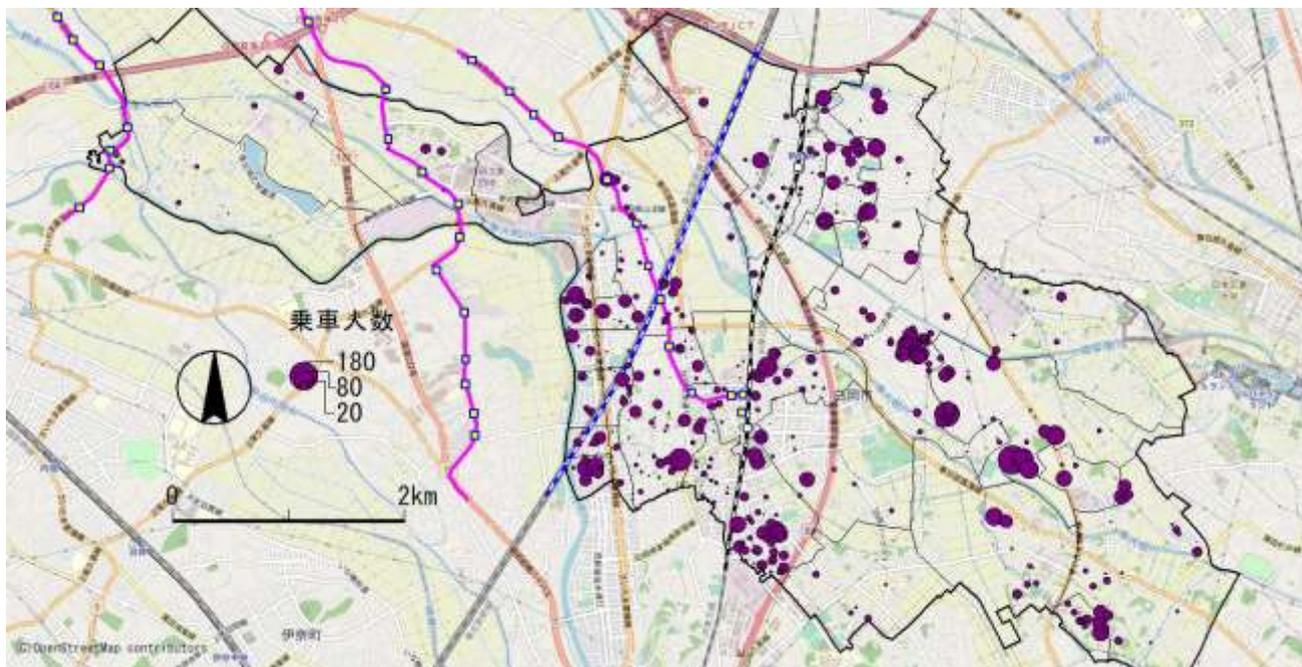


図 5-2 自宅用乗降場所(A)の乗車利用における利用人数

② 自宅用乗降場所(A)の降車利用における利用人数

利用者の分布については、乗車利用とほぼ同様の傾向であるが、利用者数は少なくなっている。

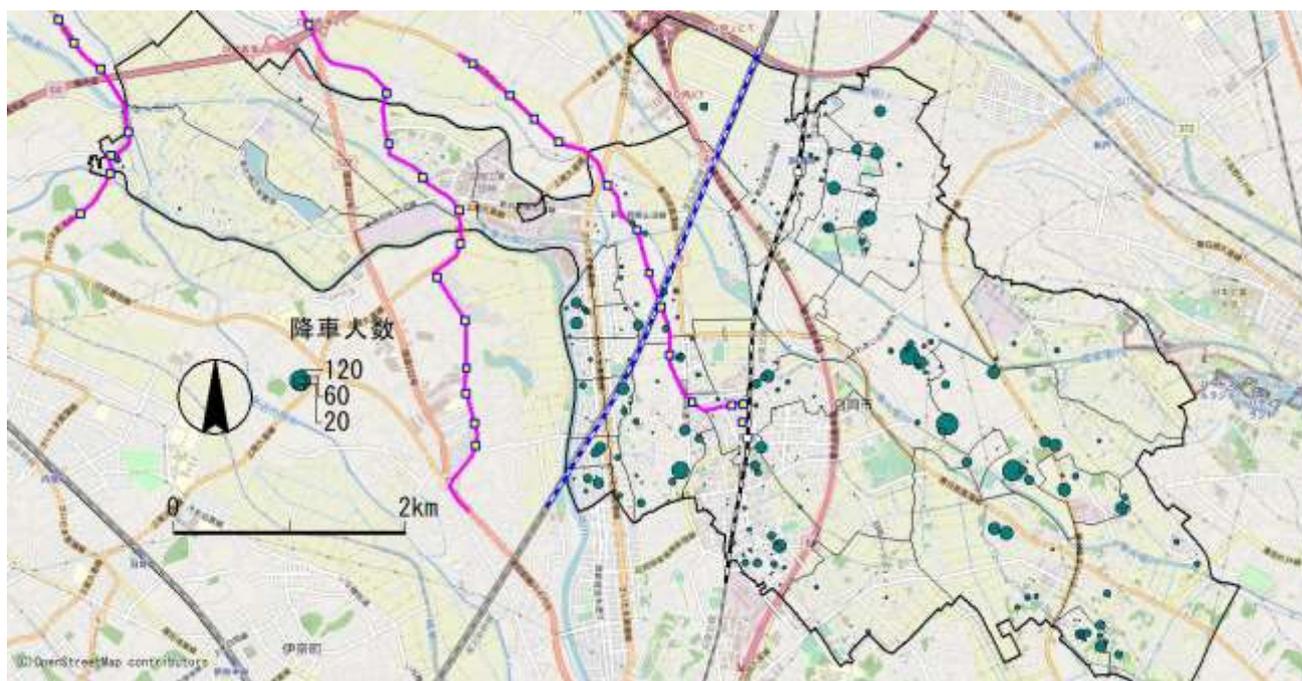


図 5-3 自宅用乗降場所(A)の降車利用における利用人数

③ 目的地乗降場所(B)の乗車利用における利用人数

乗車利用では、白岡駅東口ロータリーが428回で最も多く、白岡中央総合病院が406回、パーク病院が284回と続いた。

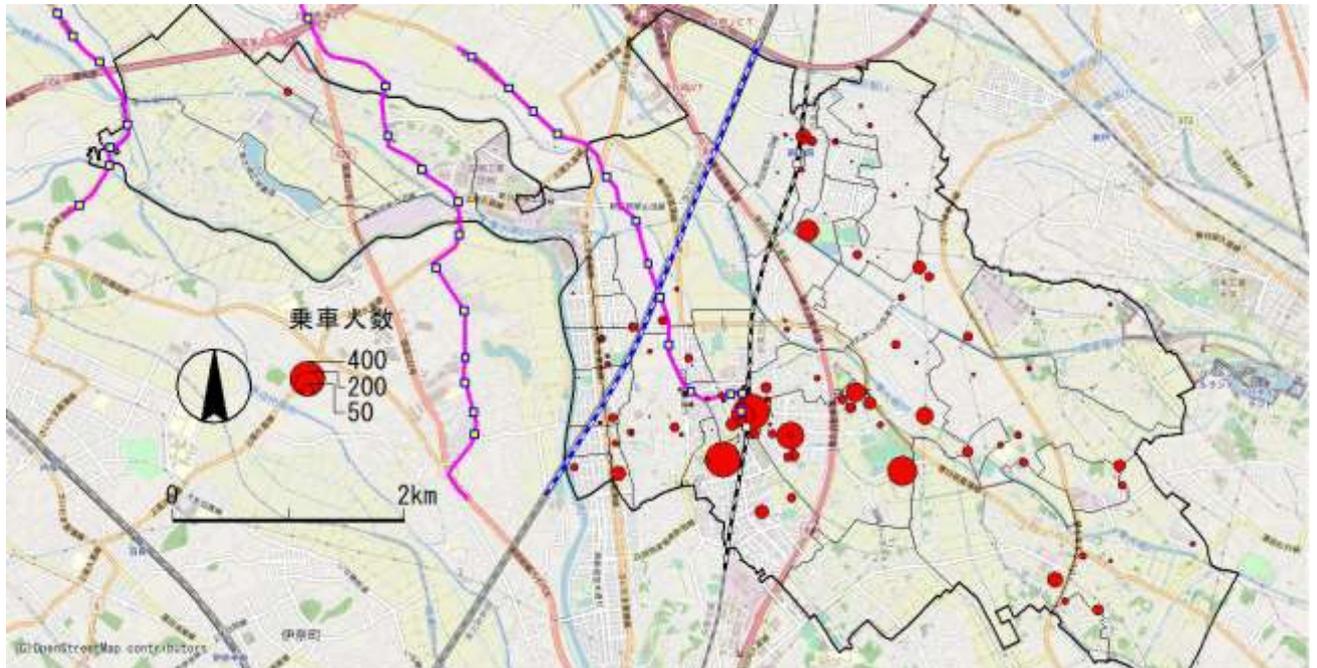


図 5-4 目的地乗降場所(B)の乗車利用における利用人数

④ 目的地乗降場所(B)の降車利用における利用人数

降車利用では、白岡中央総合病院が1,431回と最も多くなり、白岡駅東口ロータリーが945回、パーク病院が739回、白岡駅西口ロータリーが460回と続いた。

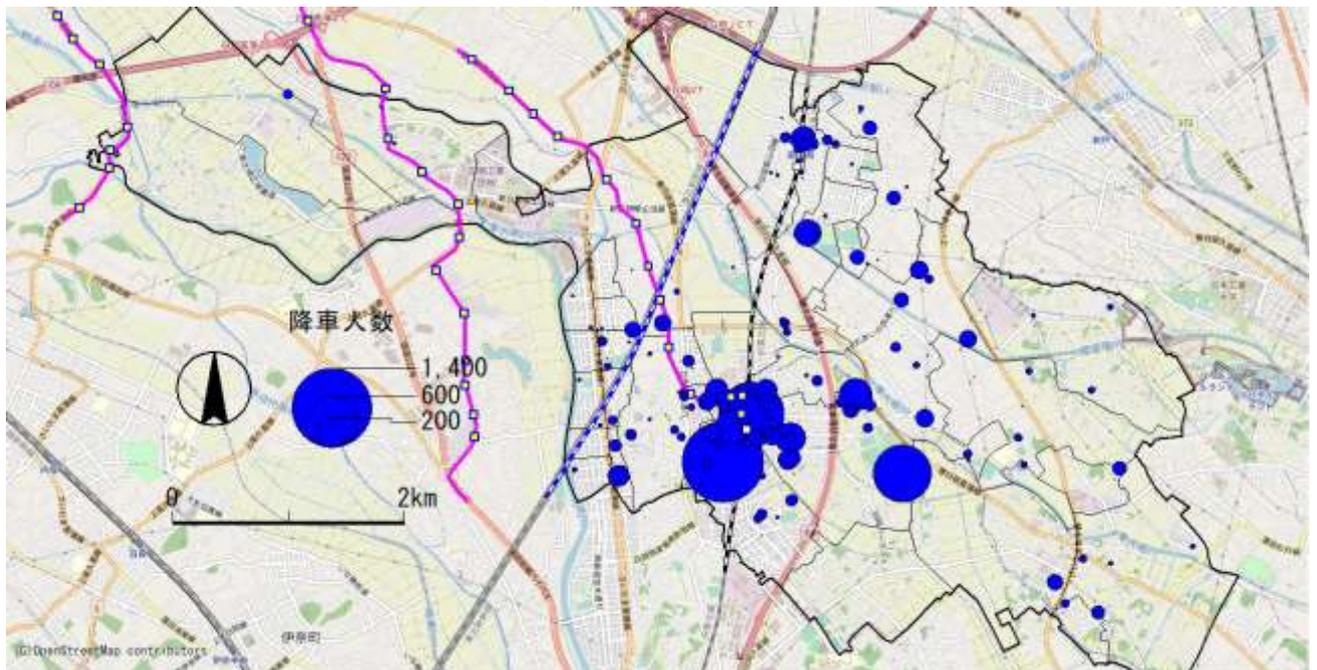


図 5-5 目的地乗降場所(B)の降車利用における利用人数